

小学生 インタープリント 2002

ニュース No.4

川と自然と防災学習

「砂防えん堤が土石流を止めた」 学校内で実験教室開催、土石流のことが分かった

大町市立大町西小学校

子どもたちの目の前を土石流が一気に流れる。
「ワッ」と息を呑む。川を越えて流れ出た土石流は模型の家を流し去る。「すごい」。子どもたちの驚きの声上がる。

大町西小学校で開催された土石流実験教室の様子です。実験教室は学校の体育館前に設置された実験装置の前で始まりました。まずは、講師の先生が、焼岳で実際に起こった土石流の写真をもとに土石流発生のしくみ、たくさんの土石が流れ出ること、流域に大きな被害を及ぼすことなどを説明しました。

そのあと実験がスタート。実験装置には、砂防えん堤がある川と、ない川の両方が作られていて比較でき



るようになっています。初めは砂防えん堤がない方の川で、水を使ってたくさんの小石を流します。模型の家や自動車を流し去ったのがこの実験結果です。

次に砂防えん堤がある川での実験。同じようにたくさんの小石を流します。どうなるのか、子どもたちも固唾を飲んで見守りました。ザーッ、水と共に一気に流れました。ところが小石はえん堤にせき止められて、下にはほとんど流れてきません。水だけが流れ下りました。模型の家や自動車もそのまま残っています。目の前の出来事に、子どもたちも砂防えん堤の働きに納得したようです。

子どもたちも「砂防えん堤があれば安全だ」ということが分かった」ようです。



スリット型の砂防えん堤を見学しました

大町西小学校では見学会を2回開催しました。第2回目は、土石流やそれを防ぐ砂防えん堤のことを知る学習です。施設の近くまで行って、砂防えん堤の役割や建設する人々の願いなどを知ることが大きな目的です。見学会では最新のスリット式砂防えん堤も見学して、そのはたらきについても学びました。

